

総合計画前期実施計画の目標に対する進捗状況※2022 年度の目標に対する進捗状況

第 1 節 1 「その人らしく生きること」をお互いに支え合う福祉のまち

1 ★福祉教育活動が年間 29 回実施され、参加者数が 1300 人になっている。

	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
福祉教育活動	実施していない。	実施していない。	14 回	30 回	19 回	26 回	52 回	46 回
参加者			645 人	1,138 人	751 人	1,191 人	1,948 人	1,239 人

2 ★避難行動要支援者の個別支援プランが、30 パーセント作成されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
個別支援プランの作成の支援に着手していない。	個別支援プランの作成の支援に着手していない。	個別支援プラン作成の構築にあたり地域と情報共有を行った。	個別支援プラン作成のために 20 の自治会・サポーターチームで地域支援を行った。	個別支援プラン作成のために 12 の自治会・サポーターチームで地域支援を行った。	個別支援プラン作成のために 13 の自治会・サポーターチームで地域支援を行った。	個別支援プラン作成のために 16 の自治会・サポーターチームで地域支援を行った。	個別支援プラン作成のために 13 の自治会・サポーターチームで地域支援を行った。

3 地域における支え合いの担い手となるボランティアの数が 600 人になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
449 人	468 人	488 人	487 人	482 人	490 人	492 人	491 人

4 地域における支え合いの土壌となるサロン活動が 38 箇所で行われている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
27 箇所	27 箇所	32 箇所	36 箇所	40 箇所	41 箇所	44 箇所	49 箇所

5 自立相談支援により自立につながった生活困窮者が 30 パーセントになっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
実施していない。	実施していない。	14%	22%	32%	32%	23%	16%

第1節2 医療・保健・福祉が連携した安心・健康長寿のまち

1 ★健康増進計画が推進され、国民健康保険被保険者一人当たりの医療費の抑制が図られている。

2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
国民健康保険被保険者一人当たり医療費 311,144円	国民健康保険被保険者一人当たり医療費 334,946円	国民健康保険被保険者一人当たり医療費 341,159円	国民健康被保険者一人当たり医療費 353,105円	国民健康被保険者一人当たり医療費 354,632円	国民健康被保険者一人当たり医療費 368,530円	国民健康被保険者一人当たり医療費 364,612円	国民健康被保険者一人当たり医療費 378,642円

2 ★在宅医療の連携拠点の設置が完了し、機能している。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
設置されていない。	設置されていない。	設置されていない。	設置されていない。	設置されている。 (2017年10月～)	設置されている。	設置されている。	設置されている。

3 国民健康保険の特定健康診査の受診率が40%以上になっている。

2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
30.1%	30.7%	31.2%	32.3%	31.1%	31.0%	31.3%	31.6%

4 総合的病院が開設されている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
開設されていない。	開設されていない。	開設されていない。	開設されていない。	開設されていない。	開設されていない。	開設されていない。	開設されていない。

5 救急搬送における ICT(情報通信技術)の活用により、救急病院との連携体制が構築され、医療機関収容までの時間が 10 パーセント短縮されている。

2013 年中	2014 年中	2015 年中	2016 年中	2017 年中	2018 年中	2019 年中	2020 年度
運用されていない。 収容所要時間 平均 40 分 53 秒	運用されていない。 収容所要時間 平均 41 分 18 秒	運用されていない。 収容所要時間 平均 41 分 42 秒	運用されていない。 収容所要時間 平均 42 分 55 秒	運用されていない。 収容所要時間 平均 43 分 19 秒	運用されていない。 収容所要時間 平均 41 分 50 秒	運用されていない。 収容所要時間 平均 42 分 30 秒	運用されていない。 収容所要時間 平均 42 分 42 秒

第1節3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまち

1 ★地域包括支援センターが市内に3箇所設置され、要支援認定者に対して、多様な主体による多様な生活支援サービスが提供されている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
要支援認定者に対しては、介護保険による全国一律のサービスを実施している。	2箇所	3箇所	日常生活圏域 3箇所 基幹型1箇所	日常生活圏域 3箇所 基幹型1箇所	日常生活圏域 3箇所 基幹型1箇所	日常生活圏域 3箇所 基幹型1箇所	日常生活圏域 3箇所 基幹型1箇所

2 ★小規模多機能型居宅介護が3箇所、定期巡回・随時対応型訪問介護看護が1箇所で実施されている。

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
小規模多機能型居宅介護	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	3箇所	3箇所	3箇所
定期巡回・随時対応型	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所

3 ★「元気な高齢者」の割合が83パーセント以上になっている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
80.4%	81%	80.87%	80.02%	80.76%	80.22%	80.20%	79.54%

4 市内の高齢者サロンが25箇所、延べ参加者数が13,000人になっている。

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
サロン活動数	18箇所	21箇所	29箇所	29箇所	26箇所	25箇所	26箇所	15箇所
延べ参加者数	約9,600人	11,014人	12,237人	11,145人	11,868人	12,364人	12,946人	5,637人

5 認知症サポーターが3,000人になっている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
1,000人	1,383人	1,701人	1,982人	2,275人	2,855人	3,298人	3,357人

第1節4 障がい者が安心して自分らしく暮らし続けられるまち

1 ★(仮称)療育・教育の総合センターで実施する相談及び障害児通所支援を利用したことのある子どもの、市内の18歳までの子どもに対する割合が9.5パーセントになっている。

2012年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
4.7% (未就学児における療育利用者の割合)	5.0% (未就学児における療育利用者の割合)	5.6% (未就学児における療育利用者の割合)	4.9%	7.4%	9.9%	11.7%	12.3%

2 ★市内にあるグループホームで生活する人が35人(8棟)になっている。

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
グループホーム 生活者(人)	11人	13人	18人	18人	20人	24人	29人	29人
棟数(棟)	4棟	4棟	5棟	6棟	7棟	6棟	7棟	7棟

3 (仮称)療育・教育の総合センターにおいて、障がいのある子ども、発達に心配のある子ども(0～18歳)に対してライフステージに応じた継続的な支援が行われている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
就学前と就学後で継続した支援になっていない。	就学相談との連携はできているが、継続的な支援にはなっていない。	就学相談との連携はできているが、継続的な支援にはなっていない。	療育教育総合センターとして、継続的な支援を推進している。	療育教育総合センターとして、継続的な支援を推進している。	療育教育総合センターとして、継続的な支援を推進している。	療育教育総合センターとして、継続的な支援を推進している。	療育教育総合センターとして、継続的な支援を推進している。

4 福祉施設の利用者のうち、就労移行支援事業等を通じて一般就労に移行する人が4人以上になっている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
0人	0人	1人	4人	8人	11人	10人	—

5 「逗子市障がい者福祉計画策定のためのアンケート調査(障がいのある人以外対象)」において、こころのバリアフリーが推進されていると考える人の割合が 80 パーセント以上になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
60.6%	－	－	－	48.6%	47.6%	67.1%	44.6%

※「逗子市障がい者福祉計画策定のためのアンケート調査(障がいのある人以外対象)」は 2014 年度、2015 年度、2016 年度未実施。2017 年度、2018 年度、2020 年度は「逗子のまちづくりに関するアンケート調査」により実施。

第1節5 誰もが心豊かに子育てできるまち

1 ★子育てに関するポータルサイトのアクセス数が2018(平成30)年度の年間アクセス数の20パーセント以上になっている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
子育てに関するポータルサイトがない。	子育てに関するポータルサイトがない。	ポータルサイトを開設し、安定した運営を行っている。 76,250件(8～3月)	132,000件	197,448件	202,446件	169,784件	139,040件

2 ★逗子市体験学習施設「スマイル」の主催講座の年間延べ参加者数が2,000人、年間延べ利用者数が60,000人になっている。

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
講座延べ参加者数	開所されて	1,316人	1,446人	1,516人	1,544人	1,268人	1,192人	330人
延べ利用者数	いない。	32,214人	41,086人	40,777人	39,008人	33,780人	33,758人	1,256人

3 「逗子市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査」における子育ての環境や支援の満足度が25パーセントになっている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
15.2%	—	—	—	—	24.15%	—	—

※「逗子市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査」は5年に一度実施予定。

4 教育・保育施設等を希望する人すべてが、希望する施設を利用できる。

2013年 (4月1日現在)	2014年 (4月1日現在)	2015年 (4月1日現在)	2016年 (4月1日現在)	2017年 (4月1日現在)	2018年 (4月1日現在)	2019年 (4月1日現在)	2020年度
18人 (待機児童数)	30人 (待機児童数)	4人 (待機児童数)	19人 (待機児童数)	26人 (待機児童数)	8人 (待機児童数)	18人 (待機児童数)	22人 (待機児童数)

5 ほっとスペースの年間延べ利用者数が 26,000 人になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
約 10,000 人	21,927 人	23,587 人	23,854 人	21,151 人	19,740 人	17,795 人	10,443 人

第2節1 子どもも大人も輝く生涯学習のまち

1 ★子どもを対象にした「共育」の講座に参加する子どもが年間延べ2,000人になっている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
各所管で一部実施されているが、「共育」と位置付け、横断的集計はされていない。	各所管で一部実施されているが、「共育」と位置付け、横断的集計はされていない。	2,092人	3,160人	7,165人	9,662人	2,581人	1,898人

2 「共育」に関するポータルサイトに参加している団体が200団体になっている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
ポータルサイトを立ち上げていない。	ポータルサイトを立ち上げていない。	299件	445件	543件	612件	667件	682件

3 生涯学習グループ・サークルの届出(登録)が250件になっている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
203件	295件	307件	445件	543件	612件	667件	682件

4 市民交流センターの会議室の利用率が70パーセントになっている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
62%	58.8%	59.9%	62.6%	64.1%	62.1%	58.8%	47.1%

5 生涯学習関連情報の窓口が一本化されている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
窓口が一本化されていない。	窓口が一本化されていない。	ポータルサイトを開設し、情報を集約した。	ポータルサイトを開設し、情報を集約した。	ポータルサイトを開設し、情報を集約した。	ポータルサイトを開設し、情報を集約した。	ポータルサイトを開設し、情報を集約した。	ポータルサイトを開設し、情報を集約した。

第2節2 文化を新たに創造するまち

1 ★逗子アートフェスティバルの参加企画数が30企画になっており、質の向上が図られている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
25企画	26企画	32企画	31企画	33企画	37企画	28企画	14企画

2 文化プラザホールにおいて、質の高い自主文化事業が実施され、ホール自主事業の入場者アンケートの満足度が90パーセントを超えている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
86.1%	88.2%	84.7%	88.4%	89.9%	86.8%	86.3%	85.9%

3 ホール貸館利用者アンケートによる満足度で「良い」が75パーセントになっている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
実施していない。	68.3%	77.8%	95.6%	85.3%	92.9%	88.2%	83.3%

4 文化プラザホールの入場者(観客)が年10万人以上になっている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
92,218人	82,299人	88,144人	88,731人	95,144人	87,728人	77,800人	23,170人

第2節3 スポーツを楽しむまち

1 ★逗子市スポーツの祭典への参加者が延べ5,000人になっている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
実施していない。	3,300人	1,786人	2,413人	1,644人	1,731人	2,494人	1,774人

2 「(仮称)スポーツに関する実態調査」において、成人の週1回以上のスポーツ実施率が3人に2人(66.7パーセント)となる。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
62.8%	—	—	—	57%	56%	55%	56%

※「(仮称)スポーツに関する実態調査」は2014年度、2015年度、2016年度未実施。2017年度からは、「逗子のまちづくりに関するアンケート調査」により実施。

3 総合型地域スポーツクラブ(うみかぜクラブ)の会員登録数が1,000件になっている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
785件	801件	772件	773件	741件	542件	614件	498件

4 アーチェリー場新規整備委・弓道場改修工事が完了している。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
弓道場が老朽化している。	—	計画の見直しにより達成していない。	計画の見直しにより達成していない。	計画の見直しにより達成していない。	計画の見直しにより達成していない。	計画の見直しにより達成していない。	計画の見直しにより達成していない。

第2節4 学校教育の充実したまち

1 ★「お互いを認め合える学級づくり」が、すべての学級で行われている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
小学校で一部の学級でモデル的に実施されている。	夏季研修会や校内研修会で教員向け研修を実施。	一部の学校で取り組みが始めている。	小中学校でお互いを認め合う人間関係づくりへの取り組みが進んでいる。	学級経営についての自己チェックリストを、全校で年2回実施している。	夏季研修会に参加した教員から各学校へ広がっている。	児童・生徒理解に関する研修にすべての市立小中学校教員が参加している。	コロナウイルスの感染防止の観点から児童・生徒理解に関する研修が中止となった。

2 ★すべての教員が「自己チェックリスト」を活用して授業と学級経営についての振り返りを行っている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
2013 年度に自己チェックリストを作成した。	教員に配付した。	17%実施	小学校で80.4%、中学校で60.5パーセントの教員に「授業」のチェックリスト項目をフィードバックした。	小学校で90.0%、中学校で67.0パーセントの教員に振り返りを行った。	4種類の自己チェックリストを全校で年2回実施している。	4種類の自己チェックリストを100%の教員が実施し、支援教育推進巡回チームによるフィードバックが行われている。	ウェブアンケートにより100%の教員が自己チェックを実施し、教育指導教員等により、フィードバックが行われた。

3 個別支援が必要なすべての児童生徒に対し、支援シートが作成され、活用されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
特別支援学級の児童生徒については作成されている。	特別支援学級に加え、適応指導教室に通室の児童・生徒についても作成されている。	前年度の状況に加え、学習支援員を配置している児童・生徒についても作成されている。	前年度の状況に加え、通常級における支援が必要な児童・生徒についても作成され始めている。	通級指導教室に通室している児童についても、作成が進んでいる。	特別支援学級在籍児童生徒、通級指導教室通室生すべての支援シートが作成されている。	特別支援学級在籍児童生徒、通級指導教室生すべての支援シートが作成され、前期・後期の境に見直しを行っている。	学校と福祉関係が連携を取り、支援シートの作成を行った。

4 ★ICT(情報通信技術)環境を整え、情報機器を活用した授業づくりをすべての教員が児童生徒のニーズに応じて行っている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
小学校を中心とした教員の一部で進められている。	中学校においても活用が進んできた。	情報教育研究会での研究内容も含め、小中学校において活用が進んできた。	小中学校において実物投影機やプロジェクター等、ICT機器の活用が拡大している。	ICT機器の活用が進み、児童・生徒の理解に合わせた適切な使い方が進んでいる。	ICT機器の活用が進み、授業内容に合わせた効果的な使い方が進んでいる。	ICT機器を活用した授業実践事例が市内の小中学校で共有されている。	国のGIGAスクール構想により。児童・生徒一人1台の端末が整備され、授業等での活用が進んだ。

第2節5 子どもも大人も共につながり成長していくまち

1 ★地域課題の解決に向けた人材育成のための講座やイベントが開催されている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
開催されていない。	開催されていない。	全4回の連続講座開催	全4回の連続講座開催	全4回の連続講座開催	全4回の連続講座開催	全4回の連続講座開催	全4回の連続講座開催

2 ★社会教育講座等各種講座において、アンケート調査による、受講者評価が80点を超えている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
80点を超えていない講座がある。	8講座中1講座80点未満(76.7点)(8講座の平均89.2点)	10講座中1講座80点未満(73.9点)(10講座の平均85.9点)	12講座全て80点を超えている。(平均91.5点)	12講座全て80点を超えている。(平均93.7点)	12講座全て80点を超えている。(平均90.1点)	14講座のうち12講座で80点を超えている。(平均87.6点)	9講座(10コマ)全て80点を超えている。(平均86.0点)

3 地域で子どもを育てる環境づくりの構築に向けた家庭教育講座が5回開催されている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
3回	6回	8回	12回 (主催3回、教育研究所と共催7回、生活安全課と共催2回)	主催9回	10回 (主催3回、障がい福祉課と連携7回)	7回(6回の連続講座を開催。単発で3回の講座を企画したが、2回は新型コロナウイルスの影響により中止)	4回(全4回の連続講座+単発講座4回の合計8回の講座を企画したが、うち4回は新型コロナウイルスの影響により中止)

4 市指定文化財の数が増加している。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
19件	19件	19件	19件	20件	20件	20件	20件

5 名越切通、長柄桜山古墳群第1号墳の整備が完了し、公開活用されている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
整備中	整備中	整備中	整備中	整備中	整備中	整備中	整備中

6 文化財収蔵庫が設置され、遺物が適正に保管されている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
収蔵施設が不足している。	収蔵施設が不足している。	収蔵施設が不足している。	収蔵施設が不足している。	収蔵施設が不足している。	収蔵施設が不足している。	収蔵施設が不足している。	収蔵施設が不足している。

7 図書館において、様々なテーマ設定により年間30回以上の図書の展示を行い、読書の推進を図る。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
22回 (一般向け12回、 児童向け10回)	72回 (一般向け42回、 児童向け30回)	74回 (一般向け42回、 児童向け32回)	87回 (一般向け54回、 児童向け33回)	101回 (一般向け68回、 児童向け33回)	111回 (一般向け73回、 児童向け38回)	129回 (一般向け92回、 児童向け37回)	82回 (一般向け56回、 児童向け26回)

第3節1 自然を大切にすまち

1 ★「自然の回廊プロジェクト」において、道標や説明板の設置済みコースが100パーセントとなっている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
37.5%	50%	62.5%	75%	75%	75%	75%	75%

2 ★特別緑地保全地区を全3地区指定している。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
指定されていない。	1地区指定済	1地区指定済	1地区指定済	1地区指定済	1地区指定済	1地区指定済	1地区指定済

3 ★池子の森自然公園の整備が完了している。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
基本計画を策定した。	計画どおり進捗	計画どおり進捗	計画どおり進捗	計画の一部進捗	進捗なし	進捗なし	進捗なし

4 市全域の緑被率約60パーセントが維持されている。

2004年	2014年	2015年	2016年	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
58.2%	—	—	63.1%	63.1%	63.1%	63.1%	63.1%

※緑の基本計画策定（2005年）に調査、2014年、2015年は調査未実施

5 市民一人当たり都市公園面積が10平方メートルになる。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
8.72 m ²	15.56 m ²	15.56 m ²	15.56 m ²	15.82 m ²	15.82 m ²	15.82 m ²	15.82 m ²

6 名越切通周辺の歴史的風土保存区域内の枢要な部分が、歴史的風土特別保存地区に指定されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
指定されていない。	指定されていない。	指定されていない。	指定されていない。	指定されていない。	指定されていない。	指定されていない。	指定されていない。

7 河川の親水施設が4箇所となっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所

第3節2 廃棄物による環境負荷の少ないまち

1 ★家庭用生ごみ処理容器の普及と生ごみ一括処理施設の稼働により、生ごみ(資源化できない一部の生ごみを除く)が資源化されている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
施設整備に向けて検討中	施設整備に向けて検討中	施設整備に向けて検討中	施設整備に向けて検討中	施設整備に向けて検討中	施設整備に向けて検討中	施設整備に向けて検討中	共同処理の方向性を示した

2 ★一般廃棄物処理施設再整備が完了している。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
再整備の方向性を検討中	施設整備に向けて検討中	施設整備に向けて検討中	施設整備に向けて検討中	施設整備に向けて検討中	施設整備に向けて検討中	再整備の方向性を検討中	中長期的な施設整備計画を示した

3 市民一人あたりのごみ排出量が1日あたり700グラム以下になっている。

2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
910g	911g	911g	914g	848g	844g	830g	845g

4 ごみの資源化率が60パーセント以上になっている。

2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
28.02%	28.2%	39.1%	43.0%	47.6%	47.4%	46.4%	47.5%

5 燃やすごみに混入される紙ごみの割合が10パーセント以下になっている。

2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
約30%	27.2%	25.7%	28.0%	34.9%	33.3%	38.1%	38.4%

6 地域の拠点5箇所すべてで、まだ使用できる不用品(資源物)の回収等が行われている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
3箇所 (逗子・沼間・小坪)	3箇所 (逗子・沼間・小坪)	4 箇所 (逗子・沼間・久木・小坪)	4 箇所 (逗子・沼間・久木・小坪)	4 箇所 (逗子・沼間・久木・小坪)	4 箇所 (逗子・沼間・久木・小坪)	4 箇所 (逗子・沼間・久木・小坪)	市の事業としての運営を終了し、市民団体のイベントへの後援等の支援を実施

第3節3 温室効果ガス排出の少ないまち

1 ★「第二次逗子市環境基本計画」に基づく新たなスマートエネルギー設備等導入支援の補助金制度の利用件数が目標を達成している。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
計画を策定していない。	制度設計の検討中	制度設計の検討中	制度設計の検討中	制度設計の検討中	現行の補助金制度は休止となったが、引き続き制度設計の検討中	2018 年度に現行の補助金制度は廃止となったが、引き続き制度設計の検討中	2018 年度に現行の補助金制度は廃止となったが、引き続き制度設計の検討中

2 2022(平成 34)年度を目標年度とする第二次逗子市地球温暖化対策実行計画の目標値を達成する。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
第一次実行計画に基づいて取組み中	第一次実行計画に基づいて取組み中 (基準年度より温室効果ガス排出量+0.03%)	第二次実行計画に基づいて取組み中 (基準年度より温室効果ガス排出量+3.96%)	第二次実行計画に基づいて取組み中 (基準年度より温室効果ガス排出量-7.71%)	第二次実行計画に基づいて取組み中 (基準年度より温室効果ガス排出量-5.98%)	第二次実行計画に基づいて取組み中 (基準年度より温室効果ガス排出量-5.87%)	第二次実行計画に基づいて取組み中	第二次実行計画に基づいて取組み中

第3節4 暮らしと景観に配慮したまち

1 ★景観形成重点地区4地区目のガイドラインを作成し、運用を開始している。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
重点地区3地区 指定済	重点地区3地区 指定済	重点地区3地区 指定済	重点地区3地区 指定済	重点地区3地区 指定済	重点地区3地区 指定済	重点地区3地区 指定済	重点地区3地区 指定済

2 ★景観資産の登録を行い、今後の景観行政の指標となるものを示す。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
景観資産未登録	景観資産登録 17箇所登録済	景観資産登録 17箇所登録済	景観資産登録 17箇所登録済	景観資産登録 17箇所登録済	景観資産登録 17箇所登録済	景観資産登録 17箇所登録済	景観資産登録 17箇所登録済

3 ★景観デザインコードを活用した啓発活動を累計10回以上行う。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
景観デザインコ ード作成済	2回	6回	8回	10回	12回	14回	15回

4 シンボルツリー苗木の配付件数が60件になっている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
2014年度事業開 始	9件 (累計9件)	16件 (累計25件)	8件 (累計33件)	16件 (累計49件)	0件 (事業休止、 累計49件)	1件 (累計50件)	4件 (累計54件)

第4節1 良好な住環境の形成により、くつろぎが生まれるまち

1 ★中期実施計画に向けた土地利用方針が決定されている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
前期実施計画策定中	都市計画基礎調査を5年おきに実施	平成28年度基礎調査実施のための基本図修正を実施	都市計画基礎調査を実施	都市計画基礎調査の分析・検討を実施	都市計画基礎調査の分析・検討を実施	都市計画基礎調査の分析・検討を実施	都市計画基礎調査の分析・検討を実施

2 ★地区まちづくり計画が3箇所策定されている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
策定されていない。	策定されていない。	策定されていない。	策定されていない。	策定されていない。	策定されていない。	策定されていない。	策定されていない。

3 ★都市計画（用途地域）による、敷地面積の最低限度の基準を導入し、運用する。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
導入していない。	導入していない。	導入していない。	導入していない。	導入していない。	導入していない。	導入していない。	導入していない。

4 ★まちづくり条例の改正による新たなまちづくりの方向性が提示されている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
2014年4月一部改正(3年毎に見直し)	2014年4月一部改正済	2014年4月一部改正済	2016年12月一部改正	2016年12月一部改正済	2016年12月一部改正済	2016年12月一部改正済	2016年12月一部改正済

第4節2 災害に強く、犯罪のない安全なまち

1 ★避難行動要支援者の個別支援プランが30パーセント作成されている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
個別支援プランの作成の支援に着手していない。	個別支援プランの作成の支援に着手していない。	個別支援プラン作成の構築にあたり地域と情報共有を行った。	個別支援プランの作成支援は未着手。対象者の名簿を作成し、同意確認を実施した。	自主防災組織等91団体のうち、6団体32名の個別支援プランが提出され、0.86%達成されている。	同意者数 2,659名に対し、個別支援プランが提出されているのが55名により、約2.1%である。	同意者数 2,245名に対し、個別支援プランが提出されているのが145名により、約6.5%である。	同意者数 1,888名に対し、個別支援プランが提出されているのが167名により、約8.8%である。

2 地域安心安全情報共有システムの登録者数が14,000人になっている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
10,341人	11,132人	11,820人	12,520人	13,312人	14,144人	16,631人	17,462人

3 ★地域安心安全情報共有システムの防犯情報の登録者数が10,000人になっている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
8,332人	8,979人	9,562人	10,233人	10,959人	11,706人	13,852人	14,683人

4 自主防災組織の加入率が80パーセント以上になっている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
73.62%	73.74%	73.65%	74.00%	74.09%	74.17%	73.57%	72.38%

5 (仮称)安全安心アクションプランが策定されている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
策定に着手していない。	策定に着手していない。	策定に着手した。	安全安心に関する懇話会を設立した。	安全安心アクションプランを策定した。	策定済み	策定済み	策定済み

6 田越川準用河川未整備区間の改修工事に着手している。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
田越川準用河川 未整備区間約 140m	田越川準用河川 未整備区間約 140m	田越川準用河川 未整備区間約 140m	田越川準用河川 未整備区間約 140m	田越川準用河川 未整備区間約 140m	田越川準用河川 未整備区間約 140m	田越川準用河川 未整備区間約 140m	田越川準用河川 未整備区間約 140m

7 防犯活動団体の数が 95 団体になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
83 団体	95 団体	95 団体	96 団体	97 団体	96 団体	96 団体	96 団体

第4節3 歩行者と自転車を優先するまち

1 ★限られた道路空間における、歩行者・自転車・自動車の共存の方策が実施されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018年度	2019年度	2020 年度
アクションプランを策定した。	アクションプランの周知、啓発活動に取り組んだ。	カーフリーデー導入は、2016年度からとし目標達成に向けた準備を実施した。	雨天により中止となったものの、カーフリーデーを実施できる状態まで準備を進めた。	歩行者自転車WSメンバーとの共催で、カーフリーデーを実施した。	商業者との意見交換等を行ったものの、予算なしによりカーフリーデーは実施できず、歩行者・自転車の共存方法の具体的な方策が示せなかった。	歩行者と自転車を優先するまちワークショップは実施できず、歩行者・自転車の共存方法の具体的な方策が示せなかった。	歩行者と自転車を優先するまちワークショップは実施できず、歩行者・自転車の共存方法の具体的な方策が示せなかった。

2 「まちづくりに関する市民意識調査」による居住地の現在のイメージで、「歩行者や車イスの人が安全に出歩けるまち」が10パーセント以上になっている。

2011 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018年度	2019年度	2020 年度
4.2%	—	—	—	3.3%	3.6%	2.7%	3.7%

※「まちづくりに関する市民意識調査」は2014年度、2015年度、2016年度未実施。

3 「まちづくりに関する市民意識調査」による居住地の現在のイメージで、「自転車を利用しやすいまち」が10パーセント以上になっている。

2011 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018年度	2019年度	2020 年度
6.6%	—	—	—	7.2%	8.2%	6.7%	9.9%

※「まちづくりに関する市民意識調査」は2014年度、2015年度、2016年度未実施。

4 自転車の走行位置を示す自転車誘導マークの主要道路への設置が30箇所になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018年度	2019年度	2020 年度
6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	13箇所	13箇所	13箇所

5 自転車・オートバイ駐輪場の収容台数が3,700台になっている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
3,106台	3,106台	3,336台	3,350台	3,448台	3,448台	3,463台	3,463台

第4節4 都市機能の整った快適なまち

1 ★(仮称)JR 東逗子駅前用地活用計画のもと、施設整備を行う。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
計画の策定に着手していない。	計画の策定に着手していない。	用地の活用に向けて、有力な事業実施手法である PPP/PFI について職員間で情報共有を図った。	事業スケジュールを見直した。	基本構想の策定に向け、庁内のプロジェクトチームの検討結果を報告書としてまとめた。	基本構想(案)を作成し、市民説明会を開催した。	基本構想を策定できていない。	基本構想を策定できていない。

2 ★市営住宅のバリアフリー化率が 100 パーセントになっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
59%	67%	67%	67%	67%	87%	87%	87%

3 2003(平成 15)年に策定した逗子市交通バリアフリー基本構想に基づき、対策の必要な市道の 17 箇所すべての工事が完了している。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
12 箇所	12 箇所	12 箇所	12 箇所	12 箇所	12 箇所	12 箇所	12 箇所

4 神武寺トンネルの歩道幅員を2メートルに拡幅する。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
0.87m	0.87m	0.87m	0.87m (工事施工中)	2.00m (工事しゅん工)	2.00m (完了)	2.00m (完了)	2.00m (完了)

5 管渠及び処理場・ポンプ場施設において、長寿命化対策工事及び地震津波対策工事を実施している。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
処理場・ポンプ場施設の一部において対策工事を実施中	浄水管理センター管理棟の耐震補強工事完了	浄水管理センター流入渠・放流渠・バイパス管の耐震補強実施設計を行った。	マンホールトイレシステム設置工事及び処理場内EXP・J耐震補強工事の完了。処理場内の一部において長寿命化及び耐震補強工事を実施中	浄水管理センターの第1・2系列処理棟耐震補強工事及び第3系列水処理設備改築工事完了	マンホールトイレシステム設置工事及び2015年度に設計した流入渠・放流渠・バイパス管の耐震補強工事の一部を実施した。	マンホールトイレシステム設置工事、処理場内の流入渠・放流渠等耐震補強工事及び管理棟屋上防水等建物改修工事を実施した。	マンホールトイレシステム設置工事、処理場内の第3系列最初沈殿池污泥掻寄機等改築工事及び水処理棟屋根防水等建物改修工事を実施した。

第4節5 地域資源を生かした個性豊かなにぎわいのあるまち

1 ★逗子海岸が安全で快適なファミリービーチとして維持されており、海水浴客数が40万人を超えている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
201,300人	237,200人	329,000人	201,300人	294,300人	364,000人	334,800人	66,600人

2 ★(仮称)商工業振興計画が完成し、推進されている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
策定に向けた調査・研究に着手していない。	策定に向けた調査・研究に着手していない。	策定に向けた情報収集等を行っている。	策定に向けた情報収集等を行っている。	策定に向けた情報収集等を行っている。	策定に向けた情報収集等を行っている。	策定に向けた情報収集等を行っている。	社会状況の変化を見定めた後に改めて関係団体と調整のうえ、策定に着手する。

3 ★(仮称)小坪海浜地域活性化計画が完成している。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
策定に向けた調査・研究に着手していない。	策定に向けた調査・研究に着手していない。	策定に向けた調査・研究に着手していない。	策定に向けた調査・研究に着手していない。	策定に向けた調査・研究に着手している。	策定に向けた調査・研究に着手している。	策定に向けた調査・研究に着手している。	策定に向けた調査・研究に着手している。

4 「まちづくりに関する市民意識調査」における年に数回以上逗子海岸を利用する人の割合が、70パーセント以上になっている。

2011年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
63.3%	—	—	—	67.2%	65.9%	64.7%	66.5%

※「まちづくりに関する市民意識調査」は2014年度、2015年度、2016年度未実施。

第5節1 市民自治のまち

1 ★(仮称)自治基本条例が施行されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
検討に着手していない。	検討に着手していない。	(仮称)自治基本条例の調査研究の一環として、職員向けの行政課題研修を実施した。	市民参加のワークショップ（2016～2017 年度にかけて全 16 回開催予定）を全 8 回開催した。学識等による検討会（2016～2017 年度にかけて全 5 回開催予定）を 2 回開催した。	市民参加のワークショップを 8 回開催し、予定していたワークショップが全て終了した。学識等による検討会を 4 回開催し、検討会での検討が全て終了した。	行政内部で条例案のブラッシュアップを行った。	検討作業は進んでいない。	検討作業は進んでいない。

2 ★5小学校区すべての住民自治協議会において、地域の課題解決の取り組みが行われている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
住民自治協議会が設立されていない。	1 小学校区で設立	2 小学校区で設立	3 小学校区で設立	4 小学校区で設立	4 小学校区で設立	4 小学校区で設立	4 小学校区で設立

3 ★(仮称)市民協働推進条例が施行されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
検討に着手していない。	検討に着手していない。	検討に着手	条例制定に向けて検討中	条例制定に向けて検討中	条例制定に向けて検討中	条例制定に向けて検討中	制定に係る調査・研究及び検討を凍結

4 市民が行政計画の達成状況等を検証する仕組み等、まちづくりの主体となって参加できる仕組みが機能している。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
仕組みを検討中	仕組みを検討	個別計画・基幹計画等の策定推進に関わっている市民による「まちづくりネットワーク会議」を2回(春・秋)開催した。	住民自治協議会のメンバーがあらたに参加し、「まちづくりネットワーク会議」を2回(春・秋)に開催した。	「まちづくりネットワーク会議」を2回(春・秋)開催した。	「まちづくりネットワーク会議」を2回(春・秋)開催した。	「まちづくりネットワーク会議」を2回(春・秋)開催した。	各計画間の情報交換が各計画の推進に生かすという目的達成、及び参加者の多様なニーズ対応が困難なことから、当面の間、「まちづくりネットワーク会議」の開催を見送ることとした。

5 「ふれあい活動」の拠点が民設民営を含め 20 箇所になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
0 箇所	2 箇所	2 箇所	2 箇所	4 箇所	4 箇所	4 箇所	4 箇所

第5節2 誰もが尊重され、自由で平等なまち

1 ★(仮称)ずし男女共同参画推進条例が制定されている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
検討に着手していない。	後期基本計画の中で条例制定を目標として掲載	新たに策定したプランに条例制定を明記	情報収集に着手	条例制定に向け、情報収集を行った。	条例制定に向け、情報収集を行った。	条例制定に向け、情報収集を行った。	条例制定に向け、情報収集を行った。

2 市が実施する「男女共同参画社会に関する市民意識調査・実態調査」において「男女の地位が平等になっている」と感じる人の割合が25パーセントを超えている。

2009年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
21.8%	22.2%	—	—	17.3%	16.3%	18.1%	21.4%

※「男女共同参画社会に関する市民意識調査・実態調査」は5年毎の調査。2017・2018年度は、「逗子のまちづくりに関するアンケート調査」により実施。

3 人権（子どもの人権も含む）に関する講演会等への参加者が年200人になっている。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
153人	152人	196人	184人	168人	217人	166人	186人

第5節3 情報化で、よりよく暮らせるまち

1 ★(仮称)情報化推進計画が完成し、推進されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
策定に着手していない。	策定に着手していない。	策定に着手していない。	策定に着手していない。	策定に着手していない。	策定に着手していないが、県の策定状況を注視している。	プラン(案)の策定は完了しており、企画課に提示し、今後の進め方について調整中。	プラン(案)の策定は完了しており、企画課に提示し、今後の進め方について調整中。

2 逗子市ホームページへの訪問数が年 100 万件になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
790,331 件	1,006,845 件	1,371,737 件	1,270,352 件	1,474,247 件	1,412,553 件	1,558,780 件	1,979,258 件

3 「まちづくりに関する市民意識調査」における「市の情報の入手方法」として「逗子市ホームページ」の割合が 50 パーセントになっている。

2011 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
23.3%	—	—	—	20.8%	20.8%	19.3%	24.8%

※「まちづくりに関する市民意識調査」は 2014 年度、2015 年度、2016 年度未実施。

※「逗子市ホームページ」及び「Web 版広報ずし（逗子ホームページ掲載）」の割合を集計

4 オープンデータの公開が開始され、二次利用が可能な形式で提供されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
公開をしていない。	2 種類	6 種類	6 種類	6 種類	6 種類	6 種類	6 種類

第5節4 世界とつながり、平和に貢献するまち

1 ★池子米軍家族住宅内小学校との交流が年2回以上実施されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
実施されていない。	実施されていない。	実施されていない。	実施されていない。	実施されていない。	実施されていない。	実施されていない。	実施されていない。

2 ★市が主催または共催の非核平和に関するイベントへの参加者数が年3,000人になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
1,800 人	2,260 人	1,980 人	1,494 人	1,909 人	1,928 人	2,323 人	約 250 人

3 国際交流イベントなど外国籍市民との交流の場が年2回以上実施されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
実施されていない。	実施されていない。	2 回実施 (主催 1 回、 共催 1 回)	4 回実施 (全て共催)	3 回実施 (全て共催)	3 回実施 (全て共催)	1 回実施 (共催)	実施されていない。